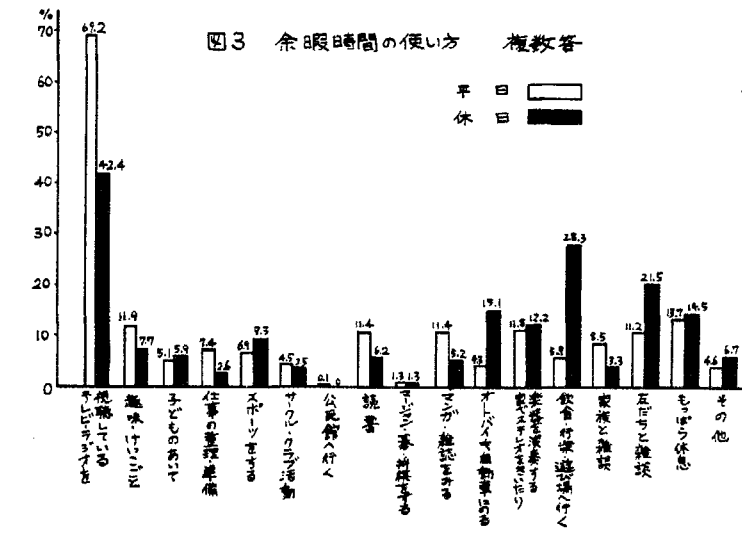
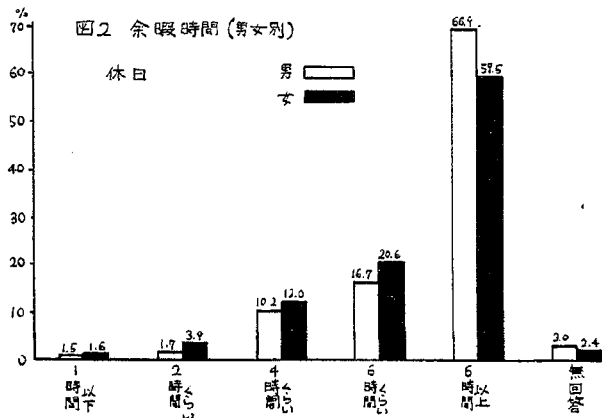
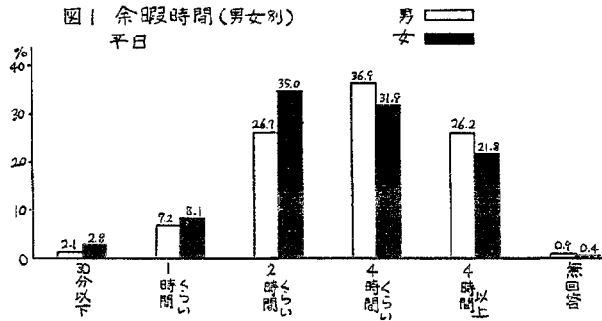


# 西川町における 青年の意識調査

## 西川町教育委員会 社会教育係(公民館)

八月に町内の区長さんの協力のもとに実施した西川町における「青年の意識調査」の結果がまとまりましたので、お知らせします。この調査は、「豊かな地域づくり活動をすすめるため、あなたは

八月に町内の区長さんの協力のもとに実施した西川町における「青年の意識調査」の結果がまとまりましたので、お知らせします。この調査は、「豊かな地域づくり活動をすすめるため、あなたは



今回の調査対象者は、町の住民基本台帳に登録された、十八歳から二十五歳(昭和五十六年三月三十一日現在)までの方、全員にお願いしました。

(全回答者八六八人に対し四八九人。休日では六時間くらいと六時間以上と答えたものを合わせると七九・二%(全回答者八六八人に対し六九一人)でした。

余暇時間をどのように過ごしていますかという質問について答えたいものをグラフで見ると(図3)のようになります。平日・休日ともテレビ・ラジオを視聴しているが非常に高く(平日は六九・二%、休日は四二・四%)となつていま

### 余暇時間について

青年が日常生活の中で自由に使える時間(余暇時間)は、平日では四時間くらいと四時間以上と答えたものを合わせると五六・四%

調査対象者数 一、二二七人

回答者数 八六八人

回収率 七一・三%

以下は調査結果の詳細です。

### 余暇時間について

青年が日常生活の中で自由に使える時間(余暇時間)は、平日では四時間くらいと四時間以上と答えたものを合わせると五六・四%

調査対象者数 一、二二七人

回答者数 八六八人

回収率 七一・三%

以下は調査結果の詳細です。

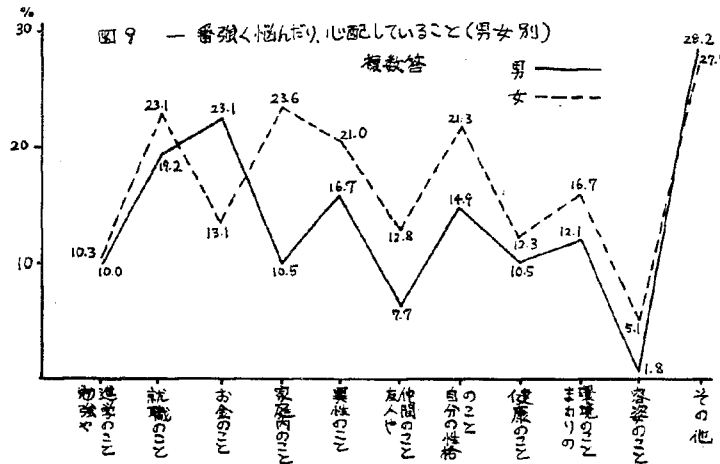
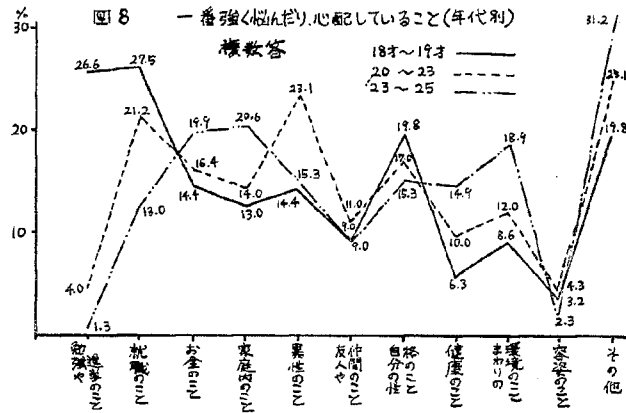
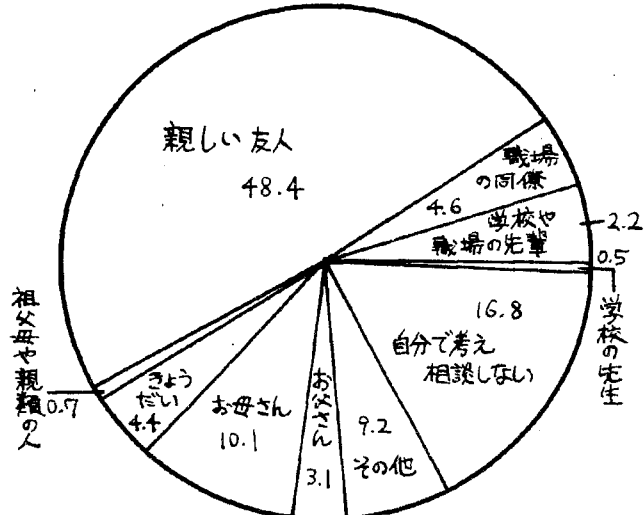


図10 自分で困ったり、悩みにぶつかったとき誰に相談するか



48・4% 親しい友人  
16・8% 自分で考え相談しない

困ったり、悩んだときの相談相手

悩みや心配ごとの質問についての回答を年代別にグラフに表すと図9のようになり、十八歳から十九歳の年代は勉強や進学、就職、自分の性格のことについて強く悩んだり心配している様子がうかがわれ、二十歳から二十一歳までの

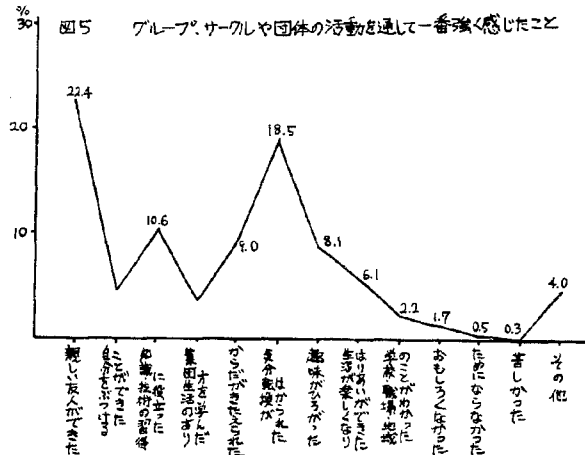
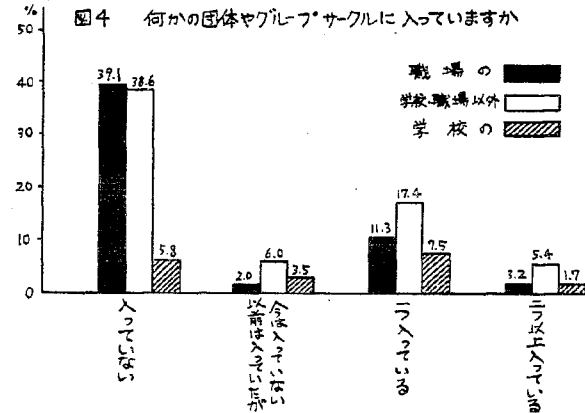
年代では就職のことや異性のことが高くなっており、二十三歳から二十五歳までの年代ではお金のことが、家庭内のこと、まわりの環境のことが高くなっており、それぞれの年代における悩みや心配ごとの特徴が表れています。

また、これを男女別にグラフで表すと図10のようになり、男性は就職やお金のことが高く、女性では就職、家庭、自分の性格のことが高くなっており、男性と女性とでは心配や悩まごとのちがいが良く表れています。

グループ・サークルについて

現在何かの団体やグループ・サークルに入っていますかという質問について答えたものをグラフで見ると、(図4)のようになりますが、約三分の二が何かの団体やグループ・サークルに入っていない、三分の一が入っていると答えています。

また、グループ・サークルや団体の活動を通して一番強く感じたことについての質問は(図5)のグ



ラフで表され、親しい友人ができた(二・四%)気分転換がはかられた(一八・五%)と高く、おもしろくなかった(一・七%)ためにならなかつた(〇・五%)が低くなつた(〇・三%)が低くなつています。

グループ・サークルや団体に入っていない人の理由についての質問では、

- ア、入りたい団体がない 10・3%
- イ、時間の余裕がない 16・1%
- ウ、どんな団体があるかわからない 10・6%

エ、おつくうだ 6・5%

オ、まわりの人からとめられた 0・3%

カ、ほかにやることがある 8・3%

キ、おもしろくない 2・3%

ク、ためになりそうもない 0・7%

ケ、お金がかかる 1・7%

コ、仲間がいない 3・9%

サ、入るきっかけが得られない 8・8%

シ、特に入る理由はない 12・2%

ス、その他

青年の生きがい

あなたは、どんなときに生きがいを感じますかという質問には(図6)

図7 友人のことで家族に話をしていますか

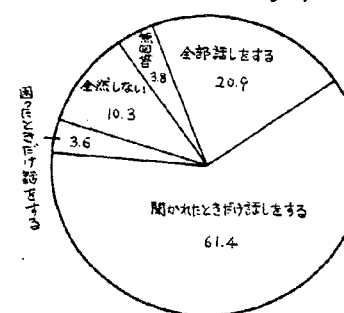
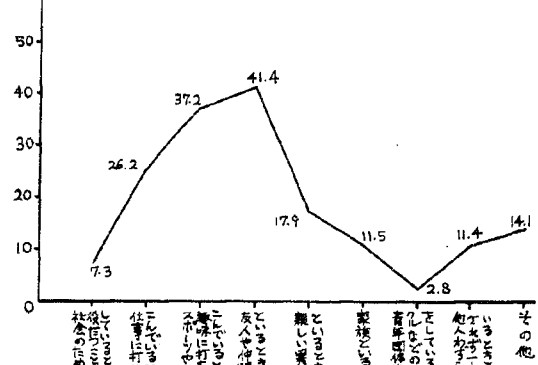


図6 どんなときに生きがいを感じるか



6)に表されているように友人や仲間といふときが、(四一・四%)全回答者八六八人に対し三五九人がこの回答と一番高くなつています。

図13 公民館等の社会教育施設で習えとしたりどの程度参加できますか

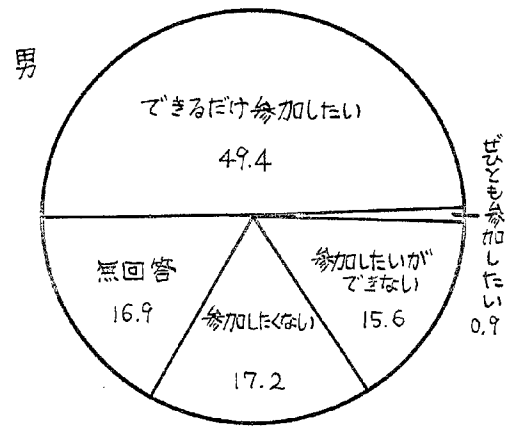
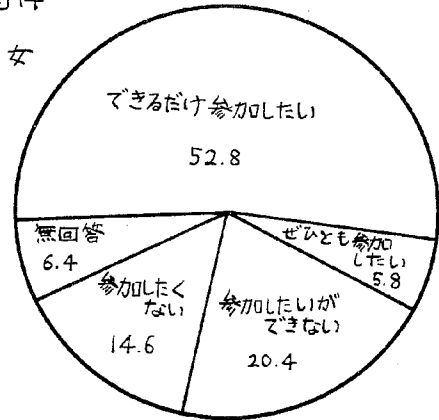


図14 女性



**学習参加と時期**  
あなたが学びたいことを町の公民館等の社会教育施設で習えとしたり、あなたはどの程度参加できますかという質問では、男女別でみると(図13、14)のように表示され、ぜひとも参加したいが男性〇・九％(男性回答者三四人)、女性五・八％(男性回答者二五人)できるだけ参加したいが男性四九・四％(男性回答者三九〇人)、女性五二・八％(女性回答者二二一人)となっている。

また、これに参加しやすい時期はいつがよいかという質問については(図15)のグラフで表され、一年中いつでもよいが一位で三二・五％、七月から九月ころが二位で一五・一％の順となっています。

また、公民館事業に参加しやすい日については(図16)で表され、平日が三六・二％(全回答者八六八人)に対し三二・四％(全回答者八六八人)が三日(全回答者八六八人)にこの回答)とした。

図15 公民館事業に参加しやすい時期

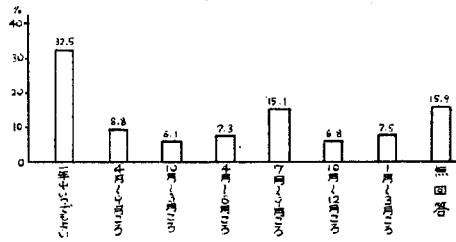


図16 公民館事業に参加しやすい日

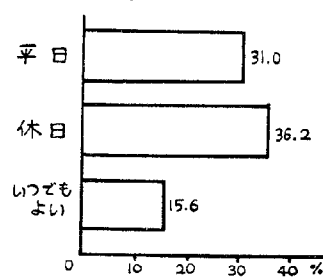


図17 公民館事業に参加しやすい時間帯

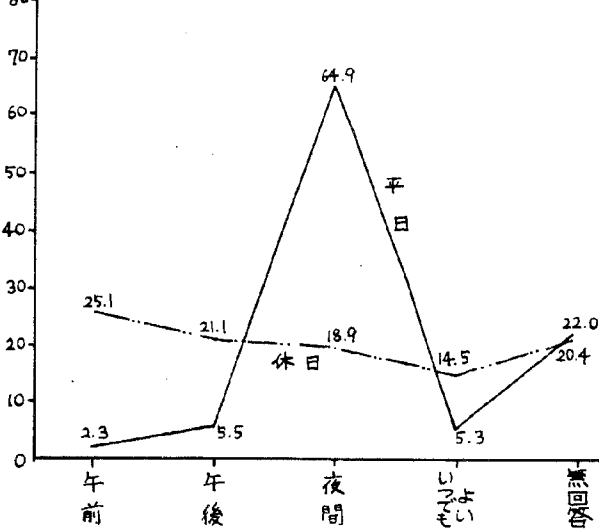
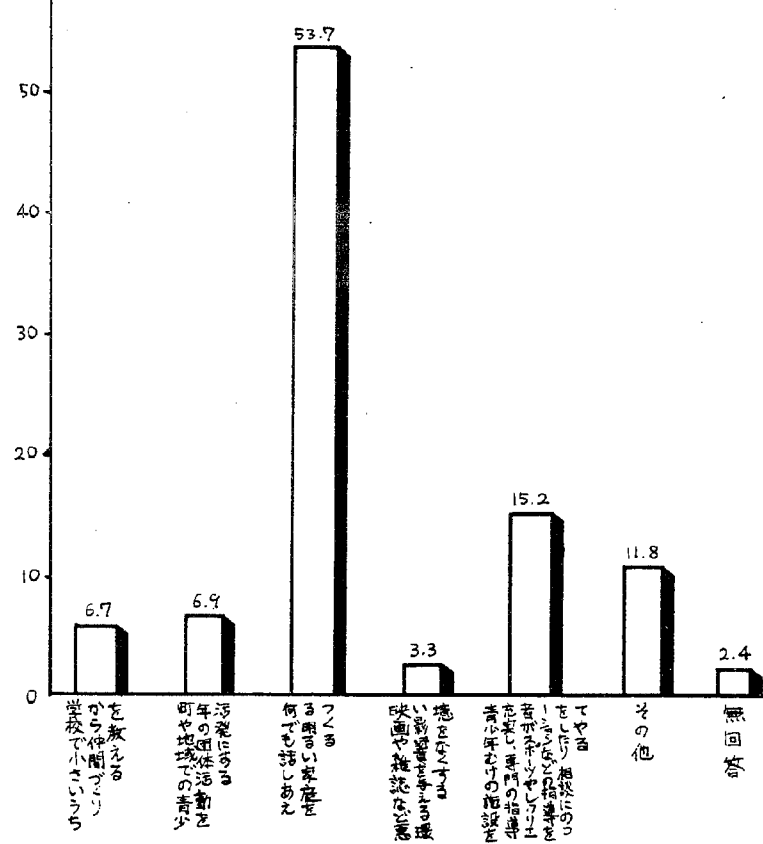


図11 青少年の非行防止のため、どのようなことをしたらよいか



最近青少年の非行が大きな問題となつていますが、あなたは非行防止のためどのようなことをしたらよいと思えますか。一番よいと思うもの一つだけ選んでください。

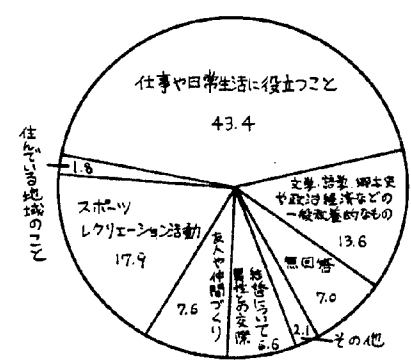
この質問に対して第一位 何でも話しあえる明る(53・7%)い家庭をつくること(全回答者八六八人に対し四六八人がこの回答)

第二位 専門の指導者によるス(15・1%)ポーツレクリエーションなどの指導・相談の(全回答者八六八人に対し一三二人がこの回答)となつています。

青少年の非行防止には (図12)

専門の指導者によるス(15・1%)ポーツレクリエーションなどの指導・相談の(全回答者八六八人に対し一三二人がこの回答)となつています。

図12 これから学んでみたいこと



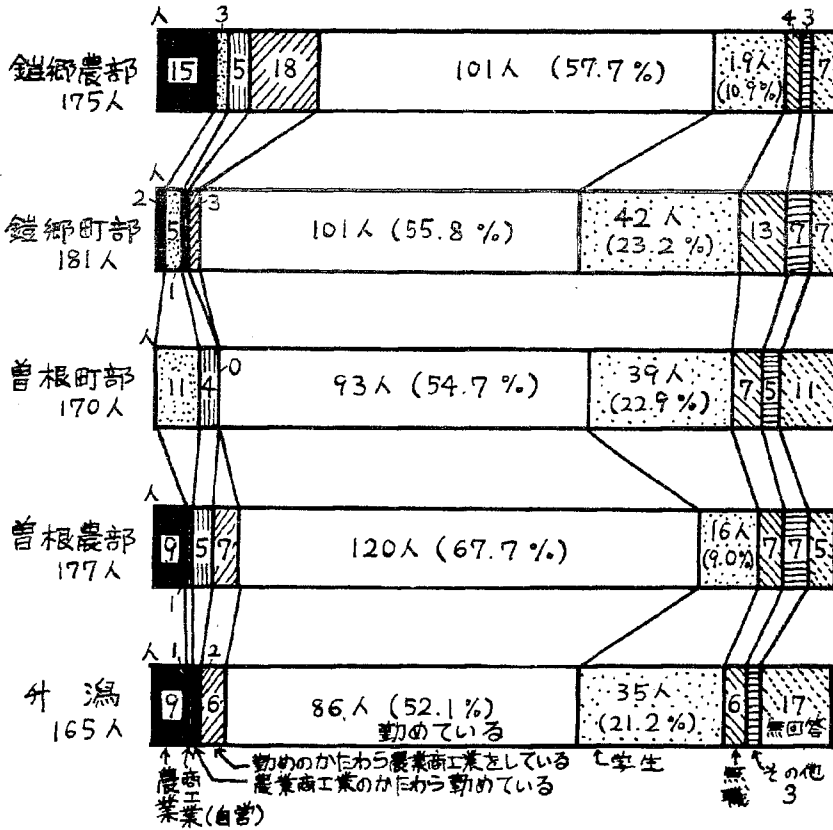
**学習意欲**  
あなたは、これから学びたいこととありますが、この質問についての回答は(図12)のようになっています。仕事や日常生活に役立つこと四三・四％(全回答者八六八人に対し三七七人がこの回答)スポーツ・レクリエーション活動一七・九％(全回答者八六八人に対し一五五人がこの回答)文学・語学・郷土史や政治経済などの一般教養的なもの一三・六％(全回答者八六八人に対し一一八人がこの回答)などが上位となっています。

また、どのような方法で習いたいと思えますかという質問に対して、現在活動しているグループ・サークルに入つて一〇・六％(全回答者八六八人に対し九二人がこの回答)無回答・その他二七％(全回答者八六八人に対し二三五人がこの回答)となつています。

青少年の学習について

青年団など若い人達との団体活動二四・八％(全回答者八六八人に対し二二五人がこの回答)個人学習一九・四％(全回答者八六八人に対し一六八人がこの回答)

図18 地域別による職業



### 回答者の性別 年代別など

この調査に回答をいただいた青年の性別では、

男性 三九〇人  
女性 四三一人

年代別では、

十八歳～十九歳 一二二人  
二〇歳～二二歳 二九九人  
二三歳～二五歳 三〇一人

結婚の別では、

はい 一一八人  
いいえ 六九〇人

職業については、

鎧郷農部 (押付・平野)  
鎧郷町部 (嘘一区・新栄町)  
曾根町部 (一番町・大正通)  
曾根農部 (旗原・新川)  
升瀉地区 (上組・三角野)

の地域にわたって集計して図形化をしますと(図18)のようなグラフになりました。

このグラフにより、各地域における青年の職業は「勤めている」と答えた人が五二%から六八%と、各地域とも全体の半数以上を占めていることがわかります。

今回の「青年の意識調査」にあたり、回答をいただいた青年の皆さんをはじめ、区長さん方の温かなご協力に対し御礼を申し上げます。ありがとうございました。

西川町教育委員会  
西川町社会教育委員会  
西川町公民館

